岐阜県山間部の配慮すべき動植物(一部)

(株) テイコク作成

				(水) ノーコンIFI級
種名	分布・生育環境	特徴・生態	貴重性	写真
キンラン (ラン科) <u>Cephalanthera</u> <u>falcata</u>	本州 (秋田県以 南)、四国、九州に 分布。国外では朝 鮮半島、中国に分 布。県内では丘丘 地〜低山地に点在 して確認記録があ る。	花は黄色で、茎の先にかたまるようにして複数がつく。葉は茎に $6\sim8$ 個 互生し、長さ $8\sim15$ cm、幅 4 cm 前後の楕円状披針形。開花時期は 4 月下旬 ~6 月上旬頃である。	環境省: 絶滅危惧Ⅱ 類 岐阜県: 絶滅危惧Ⅱ 類	
シデコブシ (モクレン科) <u>Magnolia</u> <u>stellata</u>	東海地方に固有の種。本州中に固有の一種。本州中に固有の一世域に分布。地域にでは美地域では東東市のの東上で、東京体ととのです。	丘陵帯のに生育。の を でを でを でを でを でを でを でを でを でを	環境省: 絶滅危惧Ⅲ 類。 地滅危惧Ⅲ 類	
ヘビノボラズ (メギ科) <u>Berberis</u> <u>sieboldii</u>	本州の中部地方南 西部へ近畿地方、 九州の一で分布。 九州でして分と では主との中 では方の神器記 地域に確認 見られる。	丘陵帯から。地標の 山地裾からます。山地裾からようではでは、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	岐阜県: 絶滅危惧Ⅱ 類	
カモシカ (ウシ科) Capricornis crispus	本州、四国、九州の山岳地帯に特権の日本の特権の事を主な主な事がで、休息を場所でておりまする。本様の表がでで、岩場を表がいた。といい、岩場のでは、岩場のでは、岩場のでは、岩場のでは、岩場のでは、岩場のでは、岩場のでは、岩場のでは、岩場のでは、岩場のでは、岩域のでは、土地のは、土地のは、土地のは、土地のは、土地のは、土地のは、土地のは、土地の	分類学上、哺乳動物、科の大型では、哺乳動物、科の生活、はいるのでは、一般では、大型のでは、では、大型のでは、大型では、大型のでは、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、は、大型では、大型で	国特別天然記念物	

オオタカ (タカ科) Accipiter gentilis	日主市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の黒色あとの。巣7上針けんア混鳥開で冬移低との黒色あとの。巣7上針けんア混鳥開で冬移低と	環境減危! 準絶滅危惧 性絶滅危惧	
クマタカ (タカ科) Spizaetus nipalensis orientalis	日本に中リ布騨白のなあ〜生林樹見れて、には市地日録上林葉広多山息やのられて、には市地日録上林葉広多山泉を記書を、とには市地日録上林葉広多の、村確丘帯落葉交るのよりで、には市地日録上林葉広多の、村が部に樹葉く	翼を広がな黒であ横繁立月行い、を がな黒であ横繁立月行い、を がな黒であ横繁立月行い、を がな黒であ横繁立月行い、を がな黒であ横繁立月行い、を を広がののしこ。 がな黒であ横繁立月行い、を をいる。 がな黒であ横繁立月行い、を をはいる。	環滅類 岐絶類 そ種 該 増 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
ハチクマ (タカ科) Spizaetus nipalensis orientalis	日本は、	翼を広前後である。 130cm 前後である。 だのりでである。 では後来のででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	環境省: 準絶滅危惧 岐阜県 進絶滅危惧	

ハイタカ (タカ科) Accipiter nisus	日本本のでは、	小面灰橙 あ産 の留島 で アに に の の の の の の の の	環境省: 準絶滅危惧 岐阜県: 準絶滅危惧	
サシバ (タカ科) Luehdorfia japonica	い。 本鳥はリリ殖見東のするとればりでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	る。 成鳥はにといい。 はにないには、 はにないには、 はいりでは、 があいるがでいる。 はいいでは、 はないでは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、	環境省:絶 絶滅危惧 II 類 岐阜県: 準絶滅危惧	
フクロウ (フクロウ科) Strix uralensis	日本では、北海道、北海道、北海道、北海川、北海道、北海川、北海道、州に国外ででは、北京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京	カフクで黒が黄色に を はまる は で の そ の で と で で と で で と で で で で で で で で で で で	岐阜県: 準絶滅危惧	

ヒダサンショウ ウオ (サンショウウ オ科) Hynobius kimurae	本に関京陸標付し告る表シる樹るの広で中く(う・畿で200~1,000年のでをサで針に、二樹ののす県が上でで、一次に満と州流ウオもは林・温がの生のでをサで針ら多落林・温が、一様の生のでをサで針ら多落林・温が、大きには、一様のでをサで針ら多落林・温が、一様のの生のでをサで針ら多落林・温が、一様のは、一様のは、一様のは、一様のは、一様のは、一様のは、一様のは、一様のは	体が、 の変通かいと 変通かいと 変形を のが、なり を を を のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	環境省: 準絶滅危惧 岐阜県: 準絶滅危惧	
ギフチョウ (アゲハチョ ウ科) <u>Luehdorfia</u> <u>Japonica</u> <u>Leedh</u>	日の県高低確か広がのな開環め物が地なすので山地認つく、管く発境、及少、くす方高、除録県息近がっに悪虫幼く体っ種布山丘くが内しは行たよりし吸のりとい。。帯陵全あ各て二きこりし吸のりとい。。帯域る地い次届と生た蜜食、もる、川阜亜のに。にた林かと息た植草産少州阜亜のに。にた林かと息た植草産少州	型50mm 大は下が、 が体模にが、 が体模にが、 が体模にが、 が体模にが、 が体模にが、 が体模にが、 が体模にが、 で時シじのアオン類 が体模にが、 で時シじのアオン類	環境 II 類	
オオムラサキ (タテハチョ ウ科) <u>Sasakia</u> <u>charonda</u>	本北州国鮮布はトになるやノ成冬 本北州国鮮布はトになるやノ成冬 は、に成カガヌに漢るで、は、に成カガヌに漢るで、は、に成カガヌに漢るべで は、に成カガヌに渓るべで はなな は 本、朝分虫ブタギ来谷工で越	本チ。色。6。エ。エにキは幼落降ち。ふに大に~虫力 中でタはは美生らノ食8エのて月のに近越は工食6蛹し周でタはは美生らノ食8エのて月のに近越は工食6蛹し周でタはは美生らノ食8エのて月のに近越は工食6蛹し周でみはは美生らノ食8エのて月のに近越は工食6蛹し周でかけば美生らノ食8工がで月のに近越は工食6蛹し周でかけば美生らノ食8工がで月のに近越は工食6蛹し周でかけば美生のである。これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、	環境省: 準絶滅危惧	

クマタカ

タカ目 タカ科

学名 Spizaetus nipalensis orientalis



O 貴重性

環境省RDL:絶滅危惧ⅠB類 岐阜県RDL:絶滅危惧Ⅱ類

種の保存法:該当種

○ 体長 76cm 前後翼開長 150cm 前後

O 分布・生息環境

日本では北海道、本州、四国、九州に分布。国外では中国、インド、スリランカなどに分布。岐阜県では飛騨地方の高山市、白川村、美濃地方の揖斐郡旧藤橋村、旧春日村などに確認記録がある。丘陵帯上部〜山地帯の森林に生息。落葉広葉樹林や針葉樹と広葉樹の混交林に多く見られる。

美濃東部地域では、深山に生息し、分布域・個体数ともにオオタカより狭小である。

〇 特徴・生態

翼を広げた大きさが150cm 前後の大きなタカ。体の背面は黒褐色。腹面は白色で黒褐色の斑紋がある。尾には5本の横縞がある。留鳥。繁殖期(産卵から巣立ちまで)は2~7月頃。営巣は樹上で行われるが、アカマツ、モミなどの針葉樹を好み、周辺の森林樹冠より突出した高木に営巣することが知られている。毎年同じ巣を使用することが多いが、複数の巣を保有していることもある。餌は森林に生息するノウサギ、リスなどの小型哺乳類やヤマドリ、キジバトなどの中・小型鳥類。

O 保全対策・留意事項

地域生態系の頂点に位置し、絶滅の危機に瀕しているため保護する必要がある。

ライフサイクル

